

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. NDA2 V5 900
取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種:ロードスター RF (NDERG)

警 告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

! ご使用上の注意

本製品は通常の降雨時走行では問題の無い設計としておりますが、台風や豪雨など大量の雨水が浸入するような環境下で走行する場合は、空気導入口をガムテープなどで塞ぐことをお奨めします。
また、高圧洗車機などで洗車を行う際は、空気導入口付近には直接水をかけない様ご注意ください。

純正エアクリーナーの取外し・取付け準備

PARTS LIST

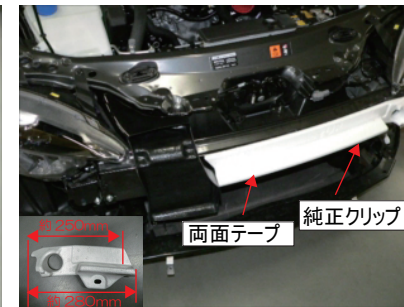


ラムエアインテークシステムの取付け

注)各作業は仮止めで行い、位置が決まってから本締めを行った方が容易です。



両面テープ



両面テープ

純正クリップ



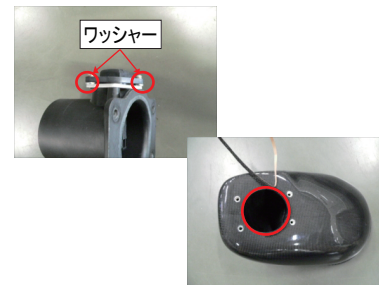
7. ビスF・M3ナットを使用して、フレッシュエアダクトにカーボンスターAを取付け、図示の位置(フレッシュエアダクトがバンパーレインフォースメントに接する部位)に両面テープを貼付けます。



カーボンスターB

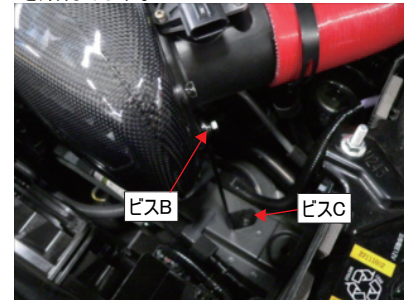
ビスA

10. ビスAを使用して、カーボンダクトケースRHにカーボンスターBを取付けます。



ワッシャー

13. ビスDを使用して、ワッシャーを間に挟みエアフローセンサーを取付けます。カーボンダクトケースLHにパッキンテープを貼付けます。



ビスB

ビスC

16. ステーをビスBとビスCで取付けます。



14. ビスAを3本使用してカーボンダクトケースLHにエアフローアダプタを取付けます。○印部のビスを取付けません。



15. カーボンダクトケースLHを純正エアホースに差込みます。



1. 車両からフロントバンパーを取外します。



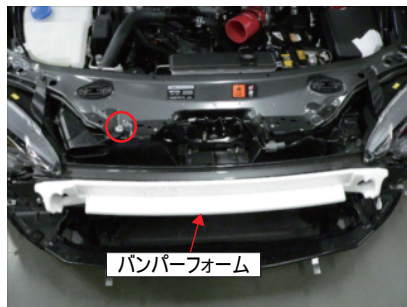
2. エアクリーナーカバーとエアクリーナーエレメントを取外し、エアフローセンサーを取外します。次に、○印部のスクリーンを取外し、エアクリーナーケースを取外します。



3. ○印部のスクリーンを取外し、エアクリーナーブラケットを取外します。

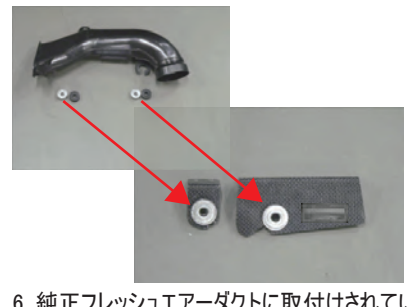


4. 純正フレッシュエアダクトを取外すため、○印部のスクリーンを取外します。



バンパーフォーム

5. ○印部のスクリーンを取外し、純正フレッシュエアダクトとフロントバンパーフォームを取外します。



6. 純正フレッシュエアダクトに取付けられているマウンティングブラケットおよびスペーサーを取外し、カーボンスターA・Bにそれぞれ移設します。



コルゲートチューブを被せる

純正スクリーンで固定する

17. Vクランプを使用して、カーボンダクトケースRHとエアフィルター、カーボンダクトケースLHを固定します。



18. フロントバンパーを復元し作業完了です。